

平成31年度手話普及啓発推進イベントについて

平成31年1月11日
群馬県健康福祉部障害政策課

1 実施状況等

(1) 実施の経緯

群馬県手話施策実施計画において、県民が群馬県手話言語条例の目的及び基本理念を理解できるよう、関係機関と協力しながら、県内各地域においてイベントを継続して開催する旨、位置付けているもの。

(2) 実施状況

実施日	会場	参加者	内容	備考
平成27年度 (H28. 2. 6)	高崎市総合福祉センター (高崎市)	フォーラム形式 308人	行政説明、講演、 パネルディスカッション、 手話パフォーマンス	・4団体（聴障連、手サ連、 群通協、群通研）がブ ース出展
平成28年度 (H28. 11. 26)	群馬会館 (前橋市)	フォーラム形式 304人	行政説明、人形劇、 手話パフォーマンス、 ミニ手話教室	
平成29年度 (H29. 9. 30)	スマーク伊勢崎 (伊勢崎市)	イベント形式 532人	手話ソング、 ミニ手話教室、 個別手話指導	・東毛地域での開催を検討 したが会場確保できず
平成30年度 (H30. 10. 28)	イオンモール高崎 (高崎市)	イベント形式 923人	手話ソング、 ミニ手話教室、 個別手話指導	・ぐんまフェアにあわせて 開催

2 平成31年度の開催に向けた検討課題

(1) 開催時期

手話サークル等、関係団体に御協力いただくため、団体行事と重複しないよう調整する必要があるが、平成31年度については10月頃の開催とすることで調整したい。

(2) 開催地域

上記のとおり、これまで前橋市、高崎市、伊勢崎市において開催しているが、「県内各地域での開催」との規定を踏まえ、未開催の地域（吾妻地域、利根沼田地域、東毛地域）を開催候補地とする方針でよいか御意見を伺いたい。

平成29年度及び30年度は複合商業施設においてイベント形式で開催し、フォーラム形式による開催と比較し、より多くの参加者が得られたところ。

普及啓発のポイントを「県内各地域での開催」に置くか、「(手話に触れたことのない) より多くの県民への普及啓発」に置くか、により、開催場所の選定方針が異なることから、考え方を整理したい。